關大
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35
発行人 [illegible]
電話大阪(388)1121代表
振替口座大阪55594番

コンタクトレンズ
メガネ
大学堂
大阪・心斎橋店
☎271－7891
阪神百貨店5階
第一生命ビル専門大店

紛争収拾の具体化へ胎動

学長試案提出か

九月をめどに鋭意検討

本学の紛争については、前号（第一六七号）付録で報道したが、その後の模様は別稿のとおりで、機動隊の学園捜査をはじめ、いろいろ曲折を経て夏期休暇を迎え、学長以下の大学当局の首脳者は、紛争解決について真剣に検討を加えつつある。学長としては、解決の試案を学部長の決定を待って所要機関にはかり、また、大学問題委員会の答申等を十分に参照して試案をまとめ、紛争収拾への具体化に乗り出す模様である。

なお、本紙一六七号以降の経過は大学本部広報係発行「関大情報」第二号第三号によれば以下の通りである。

全共闘の占拠から開放された関大会館

六月二十四日 12・30 全共闘武装学生が学内の告示や掲示を破り、社会学部一階ホール、体育館前などで気勢をあげる。

午後 二十三日にKBCで放送された学長所見〝学生諸君に告ぐ〟の全文を印刷、配布。

18・00 学部長会議で二十五日の全学拡大連合教授会を学外で開くことに変更。

六月二十五日 10・00 全学拡大連合教授会の予定を各学部教授会に切替

13・00 全学拡大連合教授会を吹田市民会館で開催。約二五〇名参集。文学部からの有志参加は時間的に間に合わず、文以外の五学部の懇談会となる。司会…教学部長

文学部教授会の学内開催案をめぐる討議でひまとり15・00から開催

議長団…津田（工）、来住（商）の二名。学長の所信表明のあと、各学部から二名、意見発表を行なう。全学集会開催の要望が圧倒的。17・00終了。

17・30 法学部長から 学長、学生部長の出席する全学集会開催要請の教授会決議を学長に伝達。

六月二十六日 12・00 中執主催の全学集会開催の呼びかけ掲示される。

法・経・工自治会、文統一派、社民主化委員会の呼びかけの集会で、全学集会による六項目実現を要望。

14・00 社会学部三時限授業に全共闘武装の一団が侵入し、クラス討論会を呼びかけたため、外国語授業六クラスが授業不可能となった。

午前中からの学部長会議で学長呼びかけの全学集会を開催することに決定、日時は六月二十八日（土）13・00―16・00を目途とし、場所は第一グランド。中執呼びかけの全学集会との関係は学生部長が折衝にあたる。

六月二十七日 11・00 学部長会議で全学集会の運営に関する打ち合わせを行なう。中執ではすでに準備していた全学集会をとりやめ学長呼びかけの集会にあげて参加することを決定。学長名で全学集会呼びかけの掲示。

18・00 文学部長（法学部長も出席）の予備折衝で全共闘はあくまでも全学集会を否認、大衆団交を要求し物別れ。

午後 広報委員会発行「関西大学通信」第一号（6月19日付）が発刊、配布される。

六月二十八日 9・00 全共闘武装学生が正門等学生の出入口で検問するなど全学集会阻止の構え。

11・00 開催中の文学部教授会に対し、全共闘の学生が教授会公開を要求、学部長代理・学生主任が説得。

13・00 定到より約二十分遅れて全学集会はじまる。参集者約七〇〇、教学部長が仮議長となり、議長団選出にあたる。議長団に教員から小林（経）、職員から山下学生から足立（経四）、伊東（法三）、植松（工二）の五名が決定議長は足立。

13・40 学長所見発表【①全学集会の目的及び封鎖に対する大学の基本方針 ②全共闘その他の諸団体から問われている問題に対する回答③大学改革に対する今後の予定】数名の学生からの質疑に対し学長・教学部長が対応中

14・30 全共闘武装集団約一五〇名、支持学生約一〇〇〇名が会場になだれこみ、グランドをデモ。議長団は全共闘に対し、武装を解いてこの集会に参加して意見を発表するよう呼びかける。全共闘集団は議長団を取り囲み議長のマイクをとりあげ代表者数名が演説する。この場を全共闘の大衆団交とすることをアピールし、学長・学生部長に対し即時団交に応ずるよう迫る。

15・30 全共闘に対抗して、スタンドで演説をしていた宮地（工学生）がグランドで負傷するという事故（このほか三名が負傷）で会場混乱のため議事進行不可能。学長・理事長・学生部長ら退出。約一時間後、全共闘の集団は会場から引きあげ、一般学生も少なくなったので、議長団は17・30閉会を宣言。大学が早急に何らかの措置をされたいとの議長団の要請を教学部長が学長に取次ぐことにする。この日13・30法人・大学連名の「退去命令」掲示。

四学部長 辞意を表明

六月二十九日 15・00 学部長会議において①夏期休暇は学年暦どおりとすること。②全学集会についての学長見解及び全学集会で述べられた学長所見の内容をプリントして配布することに決定。全共闘の武装した一団が、大学前通りの下宿屋「関大荘」「げん」その他喫茶店などへ家主の了解を得ずに侵入、家宅捜索を行なった。家屋等に若干の被害があったもよう。

六月三十日 9・00 全共闘は配布ビラ、会館放送により、午後学生課封鎖を行なうとのアピール。文学部で全共闘武装学生数名により非常勤講師担当のフランス語一クラスが授業妨害をうける。商学部事務室出入口、守衛室前でも全共闘武装学生数名が一般学生に対し授業ボイコットし全共闘に協力せよとアピール。

13・35 全共闘武装集団約七〇名が、学生課前で集会後学生課へ乱入、室内の什器備品によりバリケード封鎖し、作業を終えたのち退出。厚生課の執務はほぼ支障はないもよう。

14・00 法学部学生大会。約五〇〇名参集したが、全共闘の一方的な議事進行のため一〇〇名程度になり、学生集会に切替。全共闘による大衆団交に応じよ。応じない場合は無期限ストを行なう。そのための実行委員会をつくることを決める。

午後 前日の学部長会議で決定したプリント配布。

20・30 六学部長協議の結果、今日まで事態収拾に無為無策であったことの責任をとり、学部長職を辞任したい旨、学長に申入れ。

七月一日 11・00 全共闘学生が社事務長に対し、一職員の居所を追求、脅迫する。

午後 文闘委学生大会で全学封鎖を呼びかけ、二日から無期限ストに入ることを決議。

七月二日 9・00 経商及び社の学舎に鉄パイプをもった全共闘武装学生数名が来て、職員・一般学生を威圧する。

10・40 工二時限授業の一クラスが全共闘学生により授業を妨害され、討論集会に切替させられる。

15・30 法人・大学連名により会館不法占拠に対する「退去命令」掲示。

16・30 スト実行のための文学生大会は定足数に満たず流会。法及び社の学生大会は無期限スト可決。六月三十日の六学部長辞意表明に関し、工は辞意を撤回、法・経・商は教授会もしくは懇談会で辞任を承認、社は辞任認められず。なお、社では部長代理の更迭を決め、本庄教授が就任。

七月三日 9・00 全共闘武装集団が社事務室のシャッターをおろして封鎖。法・文でも全共闘武装集団が学舎正面の出入口に机をならべ、あるいは教壇や教卓で教室の出入口をふさぐなどして学生の入室を拒み、授業はほとんど不可能。

11・50 経済学部長から学長あて学部長辞任願提出。

15・00 学部長会議で六月二十八日の全学集会に学長が提案した大学改革問題検討の日程を次のとおり確認。①七月二十五日を目途に学長の許で改革素案立案の作業を進める。②その後改革準備委員会（仮称）を設置し、改革案を策定する。③九月中旬ないし下旬に学生に掲示する。第一学舎数教室で全共闘武装集団が演壇のマイクを破壊し、授業不可能。

17・00 経学生大会の結果、①無期限スト可決。②自治会委員リコール可決。（自治会から大会決議無効の声明あり）

19・30 全共闘武装集団約二十名が守衛室を襲い、それを制止した一学生が暴行をうけ重傷。また全共闘武装集団が大学前通りを往来し、関大荘その他封鎖反対派の学生が出入するとみられる一般市民の住居に侵入し、市民から抗議が出る。

七月四日 17・20 商学生大会の結果、五項目要求貫徹議題中①学制四十・四十一条廃止には反対、②体育推薦入学・工特薦入学を直ちに廃止の二件を決議、その他の三項目については留保。予定議題の無期限スト貫徹の件は議題にのぼらず。工闘委から工学部長あて大衆団交（七日）要求の公開質問状提出。工学部長名で「夏休みを目前にして学生諸君へ」掲示。

七月六日 **午後** 法・文・社の研究室出入口に学部長名で「…無断で立入らないで下さい」旨を掲示。

七月七日 9・30 学長名の「全学の皆様へ㈡」プリントを教職員・学生に配布。

10・00 七日付法教授会から学長あての不信任決議文書を受理。全共闘武装集団約一〇〇名学内に入る。研究室封鎖の対策協議のため、学部長会議開催、教職員が説得にあたり封鎖を阻止する姿勢をとることを確認。

12・00 全共闘武装約一〇〇名、同支持約二〇〇名が法・文研究室前で集会。法学部長のほか教職員数名がこれに出て、学部長が学長不信任決議を発表、全共闘の要請により抗議デモに参加。約三〇名の武装学生により法・文研究室封鎖。学内乱闘に備えて警察の自主的判断により機動隊が学外に待機。

15・20 全共闘集団が教室の机・椅子をもち出し、文事務室横の通路につみあげ、第一学舎を開放区にするとアピール。16・20全共闘集団により社研究室封鎖。

17・00 大阪市内で開催中の理事会に出席中の学長に法学部長以下数名の教員が機動隊退去の件と全共闘集会での要望を説明のため来談。

17・40 全共闘学生が正門にバリケード構築。

七月八日 9・45 全共闘学生が正門のバリケードを解き、商事務室前階段にバリケード構築。

昨日配布した学長名の「全学の皆様へ㈡」プリント中二ヵ所訂正掲示。なお生協に関係する個所については学長名の文書をもって学生部長が生協理事長に面会し、陳謝の意を表明。

七日付商教授会・助手会の声明文及び六日付経済助手会から学長あて抗議受理。

経教授会で学部長（代行）に東井教授を選出決定。

12・50 全共闘派学生約五〇名が経事務室に入り、山本助教授担任科目の臨時試験施行に抗議。同助教授を誠之館一号館に連れこみ約四時間話し合いがつづく。結局試験開始時間もすぎたので試験は無期延期となる。

教職員の皆様へ

学　長

㈠ 私はこの度の不祥事態の収拾について、種々具体策を検討しつつ、全学的立場から学長として信ずる方途を実施すべく努力いたして参りましたが、現下の学内状況を省りみますと、教学統轄上必ずしも充分でなくその責めに任じ難いものを感じましたので、学内の人心一新を期して、七月十一日開催の緊急理事会において辞意を表明したところ、理事会は決議をもって翻意留任方を懇請しました。

㈡ ところで、かねて学長が諮問している諸問題についての各種委員会の答申・意見や、大学問題委員会からの答申等々を重要資料として、大学改革についての学長素案をつくり、これを全学的に提示する所存であり、私としては辞意を留保し、愛する関西大学のために決意を新たにして、留任することにいたしました。

㈢ 皆様とともに関西大学を守るため、事態の収拾に一段と力を傾倒いたしたい所存でありますので、何卒ご協力・ご支援を賜わりますようお願い申し上げる次第であります。

昭和44年7月13日

機動隊が強制捜索

七月五日 2・00 大阪府警本部から令状をもって建造物侵入・凶器準備集合罪に対する捜査の執行につき申入れがあり、学長はこれに同意。4・00 学生部長が会館周辺に赴き、機動隊責任者から捜査令状を確認の上、封鎖学生に対してマイクで退去命令を呼びかける。機動隊約七〇〇人が会館をとりまき、うち二〇〇人が会館の強制捜索の行動に入る。封鎖学生約五〇人が無抵抗で会館から退去、職務質問をうけ、うち二名が銃砲刀剣類所持取締法違反により逮捕、他は釈放され学外に出る。

6・45 会館捜索の結果、角材一九七本、鉄パイプ一五一本、ヘルメット一〇〇個、灯油・ガソリンカン三九個、石二トン、硝酸・硫酸各一ビン、無線機三基、トランシーバー二基、サーベル一本、パチンコ玉（活字）一箱等を押収。会館内の各部屋の荒廃著しく、損害額は法人の推定によれば約七五〇〇万円余にのぼる見込。7・50 機動隊学外へ退出、会館に「教職員以外立入禁止」の掲示。

8・00 学部長会議開催、会館の強制捜索執行につき学長から事情説明。

9・00 学長名の告示を掲示。学長名の「全学の皆様へ」プリントを教職員・学生に配布。

13・00 一たん学外に退去した全共闘学生約五十名が再び学内に入り、同支持派約二〇〇名と第二学舎前に集結し抗議集会を開き、武装して学内デモに移る。デモの一団が体育館前で投石をはじめ、体育館内で体育実技を行なっていた教職員・一般学生が館内にとじこめられた格好となり、危険な状態がつづいたため、学長は関係者と協議して機動隊導入を要請。体育館内の教職員・一般学生は裏口に脱出路を見出し館外へ待避。

15・00 全共闘武装集団再度体育館及び凱風館を襲い、体育館の正面ガラス大半破壊、凱風館にも乱入して体育会本部室等を荒らす。

学生部長が負傷

15・30 機動隊到着。このとき学内では急迫した危険状態が一応収まっていたので、機動隊に学外待機を交渉に出た学生部長が引返した際、一高正面付近で全共闘学生の一団にとり囲まれ、暴行をうけながら会館前へ連行され、全共闘学生及び同支持派約七〇〇名の集会で自己批判を迫られる。その暴行の現場を取材していた朝日放送、毎日新聞、日経新聞の記者が暴行または取材妨害をうける。

15・40 学長の判断により学生部長救出のため機動隊出動要請。

16・20 機動隊により学生部長救出される、学生部長は全身二週間の打撲傷。この救出作業の際、学生三名が公務執行妨害で逮捕。機動隊学外で待機。

17・00 商教授会で学部長・同代理・学生主任の辞任承認。

17・50 会館前の全共闘派集会で七日十一時法・文・社研究室封鎖をアピール、学外待機の機動隊撤退。

18・30 関大荘付近で学友会中執樋口委員長が全共闘武装集団に襲われ、さらに関大前駅構内の便所へ連れこまれ、暴行をうけ重態。

19・00頃文学部女子学生二名が関大前駅付近で数名の暴漢に襲われる事件が起っている（警察の調査）。その他この日体育館前の投石、その制止及び学生部長拉致事件の際、職員・学生一〇数名が負傷。

（2面に続く）

学園封鎖と校友会

―本部日誌より摘録―

去る六月二十日全共闘学生による関大会館封鎖に関連して、校友会執行部では、当面の問題に対処してとった措置の概要は次の通りである。

▼六月二十一日 緊急部長連絡会を開催、①校友会本部の仮事務所を学外に設置する。②仮事務所の諸経費は予備費で賄う。③学園封鎖の実情を校友に周知の方途を講ずる。④以上の諸事項は会長に一任する。

同日樫本会長、松村副会長ほか役員、校友多数は封鎖された会館の実状を見た。

▼六月二十二日 樫本会長、安富代議員会議長ほか役員、校友は封鎖学生自主退去後の会館を見回った。

（全共闘学生会館を再封鎖）

相生支部総会に坂本総務部長出席して経緯を報告した。

▼六月二十三日 会長事務所に正副会長、総務部長、事務局長会合して緊急常議員会開催を決定。部長連絡会議決定事項を役員並に支部長に通知発送した。

▼六月二十四日 樫本会長は中谷学長、久井理事長を訪ね「関大会館の封鎖は校友会として憂慮に堪えない。速かに事態の収拾に善処されるよう要望する」旨口頭を以て申し入れた。

同日校友会仮事務所を吹田市垂水一丁目一ノ八足立ビルに決定

▼六月二十五日 会長事務所で正副会長会、当面の問題を検討し、同日樫本、松村、寒川、大島の正副会長は久井理事長、今井常務理事に、重ねて事態収拾に特段の配慮を要望した。

▼六月二十八日 緊急常議員会を開催、樫本会長から会館封鎖について実情報告あり、常議員諸氏から事態の収拾について強い意見発言があって、再度学長、理事長に早期解決方を要望する総意の申入れを会長に一任した。なお二十一日緊急部長連絡会決定の紛争情報は、機関紙「関大」一六七号付録として特集し、発送した。また仮事務所設置の諸経費は予備費を充当することを承認。

▼七月二日「関西大学通信」第一号を代議員、支部長に発送

▼七月三日 羽曳野支部総会に寒川副会長、坂本総務部長出席して報告。

▼七月四日 西支部総会に樫本、寒川、大島正副会長出席、同日西成支部総会に寒川副会長、坂本総務部長出席して報告。

（七月五日機動隊により会館占拠学生を排除）

▼七月七日「関西大学通信」第二号を代議員、支部長に発送

▼七月十一日 自動車関大会役員会に倉谷、千歳組織副部長出席報告。

▼七月十二日 鳥取支部総会に樫本会長出席報告。

▼七月十日 友粋会総会に坂本総務部長出席報告。

▼七月十四日 部長連絡会、会長から学内情勢の報告あり、校友会の対処方針を再確認し、近く顧問、参与会を開催することに決定した。

▼七月十五日 関大法曹会

論壇

学園の危機と全関大人の結束を

校友会長　樫本信雄

二回にわたる全共闘派の学生によって、関大会館が封鎖占拠せられ、会館はいまや荒廃の極に達している。

会館は、母校創立八十周年の記念として、十万校友が、物心両面にわたる多大の協力によって、建設せられ、法人、大学、校友会の本部として、重要な役割を果たしている貴重な建造物である。正面玄関のレリーフは、母校が関西法律学校に発し、現在の偉容をみるにいたったその源を温ね、創立者十二名の遺徳を偲び、その偉業を後世不滅に彰すため、創立八十周年記念を卜して製作されたものである。

この母校の、シンボルともいうべきレリーフも心なき暴力学生によって、汚染されている。

われわれは、いかなる理由があるにもせよ、かかる暴力は絶対に許されず、あくまで、その責任を追求しなければならない。

校友会は、封鎖後幾度か、学長、理事長に対し善処とその解決を要望した。教職員、一般学生の中にも、封鎖に反対し、その解除を訴える者もいたが、暴力学生は、これに一切耳をかさず、遂には、教育研究施設にまで、封鎖占拠を拡大し、この間、数十名の負傷者を出すにいたった。

なお、学長はじめ、各学部長等の間において、たびたび紛争解決策について協議したが、その決定的方策を見るにいたらなかった。ついに七月五日、大阪府警機動隊によって、凶器準備集合、建造物不法侵入の疑による強制捜索が行なわれ、ようやく会館の封鎖は解除された。

ところが、この機動隊の学内導入に対しある学部教授会は、大学として、最も慎重であるべき機動隊導入について、学長は適切さと配慮を欠いたとして、学長不信任の決議をなし、反面ある学部教授会は、学長の機動隊導入を強く支持している。これについて、学長は会館の強制捜索に同意したのは、教職員、学生、並びに一般市民の生命の安全と、人権の擁護とを考慮して、並に、研究教育施設及び、近隣市民の財産を、その破壊から守り、教育研究の正常化のため、同意したものであるとして、全関大人の理解と支援を求めている。

なお学長は、七月十一日の理事会において、このたびの不祥事態の収拾について、種々具体策を検討しつつ、全学的立場から、学長として、信ずる方途を実施すべく努力してきたが、現下の学内状況を省み、教学統轄上必ずしも充分でなく、その責に任じ難いものを感じたので、学内の人心一新を期したいとの理由で、辞意を表明したが、理事会の強き要請により、辞意を撤回した。

らない。しかし、一部学生の暴力を放置すれば、大学の自治を自ら破壊することになる。大学自治の名のもとに、大学構内といえども、凶器を振い人命を傷け、建物を占拠破壊したり、建物内に、凶器や危険物を蔵匿したりすることは、絶対に許すべきではない。

大学の自治は、学問の自由を守るためにのみ承認される。

現在母校においては、集団暴力によって、学問の自由が犯されている。これに立向って行くべきものは、教職員と、学生でなければならない。しかし、それが物理的に出来ぬとすれば、法的組織の中の、警察力による外ないと思われる。封鎖の解除のみによって、学園の紛争が解決するとは思われない。しかし、私学は、暴力学生の封鎖占拠が長引き、授業が正常に行なわれないときは、財政的に、行詰りを生じ、これがために、大学運営に重大な支障をも生じかねない。

長き歴史と伝統に輝やく母校は、今や、重大な時機に直面している。この危機を切り抜けるためには、観念斗争はしばらくおき、一日も早く、封鎖が全面的に解除され、スト決議が撤廃され、学園の正常化を取戻すために、全関大人が、一致協力して、学長の意図する大学問題解決試案の、策定に協力すべきであろう。

われわれ校友もまた、母校の危機を認識し、その解決に協力すべきであると考える。

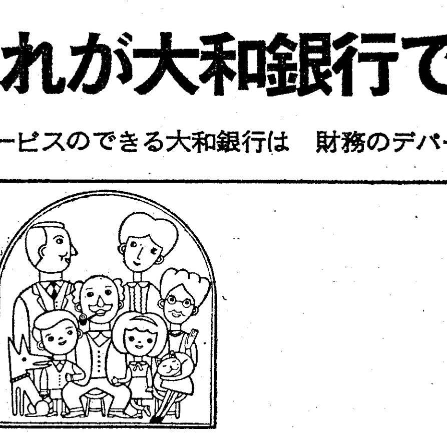
葦の雫

千里丘陵から新大阪駅へ行くタクシーの運転手が、だしぬけに〝関大にも赤旗が立ちましたなー〟という。先ほどから見えかくれする関大会館の屋上の赤旗を見つめていた私は、とっさの言葉にどう判断したらよいのか戸まどった。正直なところ、その状景を眺めて〝ちょっと勇ましい感じだな〟かって日本軍が占[illegible]がえしたの[illegible]と想ってい[illegible]に、実のと[illegible]校関西大学[illegible]もれず、大[illegible]加わり、全[illegible]される事態[illegible]無責任に〝[illegible]大学らしく[illegible]評する。そ[illegible]ら紛争の起[illegible]というよう[illegible]し一般にそ[illegible]れば、大へ[illegible]う▼先日、[illegible]もつ知人が[illegible]つよりあき[illegible]よ。どんな[illegible]達だけが正[illegible]めないんで[illegible]していた。〝君あれは[illegible]よ〟〝しか[illegible]ね。彼等は[illegible]だ。終戦の[illegible]倒もみても[illegible]んだからね[illegible]のオムツを[illegible]迎合したりすることは、決してほめられることではないし、一般の支持を得ることもできないだろう▼母校の紛争が、だんだん泥沼化していくことは悲しいことである。立場や考え方に相違はあっても、母校のきずなで結ばれる校友として、紛争が一日も早く解決することは共通の願いである。

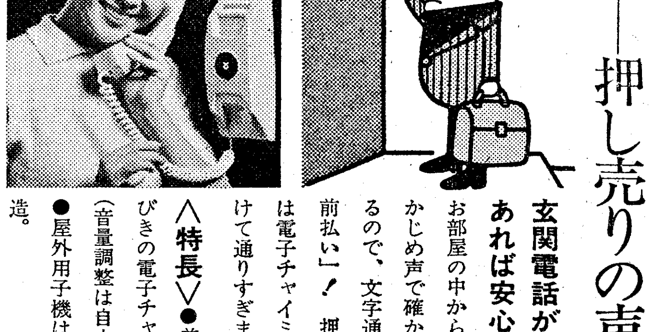
最高のおくりもの
カタノ紳士服地
英国サビルロウコールマン社・英国T・B&サンス社日本総代理店
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目（電停前）
電話 大阪(230)〇五五・〇五六・〇五七
大阪駅前店 第一生命ビル専門大店
電話 大阪(340)〇七九二
カタノ良イ カタノ凝ラヌ カタノ崩レヌ カタノ洋服店

袋物（贈答用品）の 廣島屋
カタログ進呈
財布・鞄 ETC.
（50ケ以上承ります）
株式會社 廣島屋本店
大阪市東区博労町1丁目26
TEL大阪（261）2431（代）
専務取締役 蔵田 廣造
（昭和25年旧制経済卒）

I.W.S国際羊毛事務局との協同開発に依る。
ツィン ガード TWIN GUARD
TO KEEP SILHOUETTE & SHED RAIN
（ノンパッカリング紳士服の決定版）
国内特許出願済、国際特許出願準備中
エバーレッチ Everretch
（驚異の純毛紳士服地誕生…）
その素晴らしい伸縮性と快適性はビヂネスマンの社会生活を一変させるでしよう。
国内特許出願済
全国有名百貨店・専門店にて好評発売中
大阪市東区谷町3丁目42―4
総発売元 永和商事株式会社
常務取締役 神戸健治（昭33学2経卒）
TEL 06（942）2577代



財産を つくり、そだて、まもる
これが大和銀行です――
総合サービスのできる大和銀行は 財務のデパートとして 幅広く皆さまのお役に立つ銀行です
銀行プラス信託――2倍べんりな
大和銀行
有利なしくみ
〈ダイワ トリプル セット〉
金銭信託―― 元本保証、もっとも有利な利回り
定期預金―― 身近なプランに、暮らしのそなえに
普通預金―― いつでも使える、ムダがはぶける
●プランにあわせて、ひとつだけでもお選びいただけます



電子技術で未来をひらく 松下通信工業
消えた――押し売りの声！
玄関電話があれば安心……
お部屋の中から、あらかじめ声で確かめられるので、文字通り「門前払い」！ 押し売りは電子チャイミーをさけて通りすぎます。
〈特長〉●美しいひびきの電子チャイム音（音量調整は自由自在）●屋外用子機は耐雨構造。
ナショナル玄関電話《電子チャイミー》
●VL-137（電灯線式）1セット現金正価9,850円●VL-157（乾電池式）1セット現金正価8,900円
●お問い合わせは…ナショナルインターホーン販売（株） 大阪市北区神明町8 電話(06)364-9141 神戸営業所 神戸市葺合区御幸通2丁目6 電話(078)23-6142
ナショナル 松下通信

北から・南から　各地支部だより

羽曳野支部

初の総会ひらく

新役員は選考委に一任

羽曳野支部（杉本厳支部長）では七月三日阿倍野以和貴荘において発足後第一回総会を開催した。

当支部は従来羽曳野市並びに藤井寺市在住校友をもって構成していたのであるが、最近とみに会員が激増したため、過般三月二十四日の支部総会において藤井寺市在住校友の独立を認め、名実ともに羽曳野市在住校友によって構成されることになった。

当日はその第一回会合に当たり、校友会本部から寒川副会長、坂本総務部長等が出席され、祝意を表されると共に、母校並びに校友会の近況を報告された。殊に母校の学園紛争に関する一連の動きについて、その背景等を交え、寒川副会長から報告されるに及んで、出席校友から、事態の早期解決を望む熱心な意見が続出した。

また当日議題の副支部長以下新役員の選考について協議の結果、阪野武二郎氏ほか四名の委員による選考と決まり、特に出席校友からの適任者リストアップ等を資料に後日決定の運びとなった。

出席会員は次の通り（順不同）

山口正夫、山脇修、西村哲朗、上田伊三男、阪野武二郎、藤田忠男、西本寛一、杉本厳、大井二郎、大洲紫治、小林重三、小林民夫、

発足後初の総会を開いた羽曳野支部

現役員が重任

阿倍野支部総会

阿倍野支部（小嶌竜太郎支部長）は、昭和四十四年度定期総会を、七月五日午後七時より阿倍野広田家において、櫟本校友会長をはじめ二十三名出席のもとに開催した。

議事は中本会計監事の司会の下に進められ、小嶌支部長挨拶の後事業報告を谷石副支部長、会計報告を西森会計からなされ、各々承認されたのち、任期満了に伴なう役員の改選を議に付した。

選考には樋口哲四郎先輩ほか四氏が当たり、別室審議の結果、結局支部長ほか現役員の重任を決定した。

小嶌支部長から「母校の重大難局に当たり、決意新たに責を果たしたい」旨の挨拶があり、続いて櫟本校友会長より、折柄五日朝機動隊により封鎖排除されるまでの母校学園紛争の経過について報告され出席諸氏から事態の早期収拾を訴える積極的な発言がくりかえされた。

支部役員は次の通りである。

支部長小嶌竜太郎、副支部長谷石喜三治、沢田恒夫、会計西森元治、会計監事中本勇、常任幹事加納藤右衛門、若井伝次郎、山本勝夫、河合中、樋口哲四郎、房本仙太郎、黒沢五郎、本多浩。

広田家で開かれた阿倍野支部総会

支部長に清水篤夫氏

呉支部が44年度総会開く

呉支部昭和四十四年度総会は五月二十六日、25名参加の下に開催され次の通り新役員を決定した。

支部長　清水篤夫（昭9専二法・司法書士）

副支部長　下原太郎（昭15大法・呉興業倶楽部）

幹事長　山本昌男（昭18専二法）

相談役　鍵尾豪雄（昭7大法・弁護士）

幹　事　崎谷　進（昭29短一・㈲太平商会）

清水支部長（前列右から3人目）を囲んで呉支部総会参加の人々

新支部長に小林氏

西成支部が44年度総会開く

西成支部は昭和四十四年度総会を七月四日大阪アベノ・東海倶楽部別館において午後六時から開催した。当日は会員二十名、校友会本部より寒川喜一副会長、坂本龍夫総務部長および藤本道人氏の三名が出席した。

三好支部長のあいさつで開会、議事に入り、事業報告（中西幹事長）決算報告（矢田会計）並びに支部長選出が行なわれ、昭和四十四年度新支部長に小林正立氏が満場一致で承認された。小林氏新任のあいさつで議事を終了し、続いて寒川喜一氏と坂本龍夫氏があいさつに立ち、母校および校友会の近況をそれぞれ報告した。続いて記念写真撮影後、三谷久男氏の音頭で乾杯をし懇親会に移り午後九時閉会した。

支部出席者は次のとおり。

三好一夫、小林正立、三谷久男、石川寛水、木林清一、北幸司、山田信夫、吉川喜三、中島久綱、鷲見英雄、中西正充、西良男、井口守久、野村広一、山本実、藤巻新一郎、矢田武、榎本博康、米田徳也、岩原金一

なお新役員は次のとおり決定した。

（支部長）小林正立、（副支部長）中島久綱、金井清熏、中西正充、（幹事長）野村広一、（会計）矢田武、的場寅一、（会計監査）山田信夫

44年度西成支部総会に出席した人々

施設慈善訪問の具体案検討

自動車関大会

自動車関大会（大橋博会長）では、七月十一日午後六時より福島区大阪ダイハツ販売本社において役員会を開催。母校紛争問題について倉谷・千歳両本部常議員より経過説明を受けるとともに意見交換を行ない、ついで本年度事業計画の一つである施設慈善訪問の具体案を検討し午後八時すぎ散会した。

母校の紛争経過聞く

役員重任・相生支部総会

発足三年目を迎えた相生支部（支部長粟山信男氏）では昭和四十四年度総会を六月二十二日午後二時より〝あいおい荘〟において開催した。

当日は、午後一時相生市役所前に集合のところ、支部会員十五名並に校友会本部より坂本総務部長事務局藤本氏など多数がそろい、定刻すぎマイクロバスにて入江沿いを潮の香一杯吸いながら、会場に落ち着き総会議事に入った。

まず、粟山支部長挨拶のあと、坂本総務部長から母校並に校友会本部の近況を伝える挨拶がなされ殊に六月二十日全共闘学生による関大会館封鎖に関連する学園紛争の経過については、折柄各紙に報道され関心事であるだけにいろいろと意見がかわされた。

なお任期満了に伴う新役員人事については左記の通り全員重任が決定した。

支部長粟山信男（昭18専法）副支部長中田和彦（昭32学一法）幹事加納多々雄（昭6大法）大屋敷一允（昭34学一経）松浦延哉（昭35学一文）三住浩文（昭35学一法）船曳成章（昭37学一商）黒石幸男（昭25学一経）

当日の出席者は次の通り。

粟山信男、加納多々雄、中田和彦、角本信三、大屋敷一允、松浦延哉、三住浩文、船曳成章、松田年晴、藤林雅樹、石家靖人、太田幸作、清須義機、宮崎武人、松本章男（順不同）

44年度相生支部総会に参加の人々

新支部長に横山正一氏

泉佐野支部

泉佐野支部では、支部役員の改選を行ない、次の通り選出された。

新支部長　横山正一（臨16大経　富士鋼線所取締役）

副支部長　田端昭雄（昭25学一政　近畿公安調査局）

副支部長　和泉谷武（昭27院修経　和泉谷酒店）

関大聖書コレクションだより

◇北村喜太郎氏（昭42法一卒）は六月二十日スイスのエキュメニカル・インスティテュートとローザンヌ大学での二ヶ年にわたる留学を終えて元気に帰朝された。氏は本学図書館聖書コレクションのため関大キリスト教青年会の依頼を受け出版市場では入手困難のレト・ロマン語の聖書を探して贈ってくださったことは、当時本紙にも紹介されたことがある。

会長に広瀬浩三氏

守口市役所純正会総会

守口市役所純正会では、このほど総会を開き、左記の通り新役員を選出した。

顧問　植村益久（助役、純正会前会長）

会長　広瀬浩三（水道部総務次長、純正会前副会長）

副会長嵩多洋三（市長公室行政振興課長）

副会長中西修三（総務部課税課長）

友粋会総会開く

友粋会では去る七月十三日（日）和歌山県奥雑賀崎で、昭和四十四年度総会を開いた。

友粋会総会に参加した人々

声

生家を荒らされる思い

御堂河内宏修

関大は私の母校である。最近、一部のゲバ暴徒によって母校が荒らされている。母校を荒らす者を断固排除して、一日も早い平常回復を念願する一人である。

関大の学生は、入学の際〝学則を守る〟旨を誓約しているはずである。大学は義務教育ではない。気に入らねばやめればよく、大学もまた学則を守らぬ学生は退学させればよい。現在、暴力学生は大学に対して、学生処分規定廃止を要求しているというが、とんでもない話しである。彼らは現体制破壊を標傍しており、そこには現代的常識はない。彼らは既に〝断絶〟の彼方にある。大学当局との大衆団交を主張しているが、ゲバ棒姿のままでは大衆団交など、それこそ彼らのよく口にする〝ナンセンス〟である。

大学は本来、平隠な学問の場である。大学での勉学に工事現場用のヘルメットは不要である。覆面は由来、卑きょう者のする装いである。平隠な大学内でのゲバ暴力など言語道断で、ゲバ棒は一本たりとも大学内に入れさせてはならない。

大学の運営管理権等はすべて法人たる大学に属する。学長を中心とする執行部は、これを大学から委任されているのである。管理運営権行使に当たっては、善管注意義務を負うており、学生全般に対しては、平隠に学究できる環境を提供する責任がある。

大学の自治と学問の自由がしばしばいわれる。自治も自由も、平隠な時にこそいえる言葉である。ゲバ棒の横行する大学には、もはや自治も自由もない。大学は治外法権でもなければ警察力もない。学内での身体、生命、財産、治安の危機を察知したとき、直ちに警察に協力を求めてこれを防止するのは、大学としての当然の措置である。警察としても、自主判断によって行動することは、これまた当然の任務である。

暴力学生による今回の封鎖占拠に対する中谷学長の機動隊導入措置を、学部教授会が「慎重な配慮を欠いた」として、学長不信任決議や抗議声明を出したというが、教授会としては、むしろそれよりさきに、暴力排除に努めるべきである。自からの力で暴力を排除した後でなければ、学長を責める資格はない。自己の無力をタナに上げて、他を責める態度は卑劣であり、責任転稼である。暴力学生の先頭に立った校友の一人である中法学部長の行動は、全く不可解の一語に尽きる。

校友でない先生や学生は、一たん退職、退学すればそれまでである。母校の現状は、あたかも生家を、乱暴な下宿人に荒らされているのを見る思いで、誠にさびしい。

（昭和四十四年七月八日記・昭五、大法卒。日本教育新聞編集局記

学生時代のふんいき

盛大に鳥取支部総会

鳥取支部総会は七月十二日午後六時から鳥取市内の中国料理店龍仙閣において帰省中の現役学生を混え、盛大に開催された。なお本部から櫟本信雄校友会会長が出席した。

会場には紫紺の生地に白い染抜きの新調の学旗が掲げられ、学生時代を想いおこすに十分なふん囲気だった。

会は安部幹事長の司会で始まり、今年五月上旬に上阪した奥沢支部長がまずあいさつに立ち、学園の様子を報告した。次に櫟本会長が最近の出来事を報告するとともに当支部が創立各十年近くも継続発展していることを祝した後、自己紹介に移り、珍味中国料理に舌鼓を打ちながら一層の親しさを増した。最後に元応援団副団長の豊野氏のリードで学歌を声高らかに歌い、続いて奥沢支部長の音頭で〝関西大学万歳〟を、櫟本会長の音頭で〝鳥取支部万歳〟を三唱し、次回の総会も盛大ならんことを期して九時前閉会した。

当日出席者は次のとおり。

奥沢澄（支部長）、橋本喜一郎（副支部長）、安部誠吉（幹事長）、田中薫、古寺善三、君村嗣之、谷口康成、平野昌男（以上幹事）田中浩道、山崎二郎、松井鶴幸、櫟本英夫、西村正美、城戸哲男、村上正紀、高辻太一、加藤博司、井上博士、上井満昭、八木祥之、荒田英毅、豊野通弘、市村雅彦、加藤信介、木下剛毅、上山忠久、花房豊、滝川信道、高橋利寛、山部広一郎、小川慎治、学生五名

バリケードの内側

紛争アラカルト

七月十日毎日新聞朝刊の大阪版「パトロール」欄に「学園封鎖の内側に見る―関大―」冷蔵庫つき清酒も、豊かな闘士のお台所と題して次のように報道されていた。

◇反日共系学生の学園闘争にとってバリケード封鎖は常とう戦術だが〝封鎖の内側〟で彼らがなにを考え、どんな生活をしているか。五日早朝、府警機動隊の手で封鎖解除された関大会館での彼らの二週間にわたったろう城生活の跡をみてみると―。

正面入口、階段、窓にはスチール製ロッカー、机などがうず高く積み上げられており、準備されていた〝凶器〟は角材、鉄パイプ三百五十七本、ヘルメット百個、石二トン、ガリソン、灯油カン三十個など。出動した機動隊員が〝城攻め〟と呼んだのもある程度はうなずけるような状態。理事長室、各学部長室などは各セクト別の「書記局」にあてられ、他大学からの応援部隊を受入れるため特別に「外人部隊応接室」も設けられていた。

◇なかでも〝傑作〟だったのが二階の「食糧部」。「食糧庫への無断入庫を禁ず」と書かれた中へはいるとナベ、カマ、ポット、食器などがきちんとたなに並べられていた。食糧はざっと目にとまっただけでも砂糖、玉ネギ、キャベツなど。机の上にたくさん並べられており「開放には食糧部の許可を得よ」と書かれた冷蔵庫の中には数十本のジュース、ソーセージ、つくだ煮があった。五十人の〝闘士〟を養なっていた食糧事情は思ったより豊富。手つかずの清酒ビン三本も残ったままだった。

壁、床はマジックインキの落書きでいっぱい。「体育会右翼ファッショ打倒」「全共闘は最後まで闘うぞ」「管大解体」といった闘争宣言型のものがさすがに圧倒的だが、なかには風刺をきかせ、読むものをニヤリとさせるものもある。その一例。

壁は語る→パリの五月

壁も語る→日大

壁が語る→関大

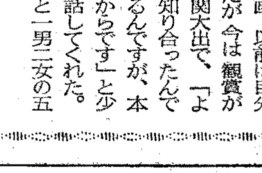
壁を語る→評論家

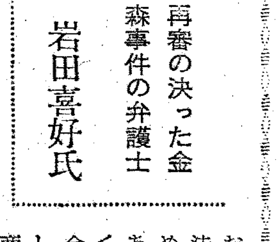
壁に語る→全共闘

「君のためにも闘うぞ。最後まで日和（ひよ）らないぞ。信じてくれ。FROM BARRI WITH LOVE（バリケードより愛をこめて）」と書いた学生はひるみがちな闘志を恋人を思うことでふるいたたせたのか。

◇五日午前四時、機動隊七百人の〝夜襲〟をうけた学生は激しく降る雨の中を無抵抗で自主撤退。混乱はなかったが、封鎖解除のあとには、形骸（けいがい）化する大学秩序に対する怒りのことばと大学自治に介入した機動隊（国家権力）の足跡が鋭い対立をみせて残っていた。

二日後の七日には全共闘は再び法文研究室をバリケード封鎖し、教授会の一部からも機動隊を導入した学長不信任の声がたちまちわき上がってきた。他の紛争大学ではとにかくも〝自主解決〟の道がさぐられているとき〝荒療治〟をやってのけた大学側にとって七千万円といわれた関大会館の被害以上の大きな傷跡を残したのではないか。





再審の決った金森事件の弁護士

岩田喜好氏

□…岩田喜好（いわたきよし）氏、さきごろ再審の決まった金森事件の弁護士である。氏が金森さんに会ったのは昭和三十四年の五月、城東福祉事務所の無料相談で、話を聞いた時はとても再審のできる事件ではないと思った。ところが金森さんが熱心に事件に関係ある人々に手紙を出し、三十九年、松田元予審判事の返事をみせてもらい「これは何かある」と感じ、直接話を聞き、自信を持ったという。

それから金森さんのアリバイを証明する人、真犯人といわれる中国人・宇文柱の裁判に関係ある人など根気のいる証人さがしが始まった。電話、手紙、訪問など、これまでに五～六十名の人に会い、九人の証人をさがした。「再審は入学試験のようなもの、無罪判決という卒業証書を手にするまでは」とこれからも証人をさがしていくという。再審については「物的証処がないのは少し不安だが、証人が元判事・検事というのは、心強い」と自信をのぞかせる。

□…昭和二十二年青年学校から専門部法律学科に入学、本当は工業の勉強をしたかったが、夜間では工業関係の学校はなく、関大を選んだところ法科へ行けといわれ、法律学科に入ったそうである。一・二年の頃は熱心に授業に出席し冬などはオーバーを着たまま授業を受けたという。石田教授に、法律を勉強するなら国家試験を受けるよう言われ法律研究会へ入り、元旦も休まず毎日曜日、先輩に指導をうけ、三、四年の頃は学校よりも中の島図書館へ行って勉強したそうである。

□…三十二年弁護士を開業。おじが弁護士だった関係上、法律をやるなら弁護士にと決めていた。「目立ったことはあまり好きでないが、根気よくやることには自信がある。金森事件の場合もそれで成功したと思う」という。仕事は商事関係が大部分で、刑事事件は年に一つか二つぐらい。工業が好きなので、特許問題には興味があり、勉強もかなりやったとのこと。

□…趣味は絵画。以前は自分でよく書いたが今は観賞が主。奥さんも関大出で、「よく学生時代に知り合ったんですかと聞かれるんですが、本当は卒業してからです」と少し照れながら話してくれた。家庭は奥さんと一男二女の五人暮らし。

金森事件

太平洋戦争直前の昭和十六年十月二日夜、朝鮮・釜山市の朝鮮製鋼から出火、同工場を全焼、隣の子会社日本帆布合名会社の一部を焼いた。女子工員の「犯人と後姿が似ている」との供述で、日本帆布の職工監督をしていた金森さんが釜山警察署に逮捕され、拷問の末、五十九日目に〝自白〟した。十七年十月に京城高等法院で刑が確定した。金森さんはずっと無実を訴えていた。

開放区つくる

―関大情報つづき―

七月十日

13・00　商教授会で学部長代行に吉信教授、同代理に来住教授、学生主任に中辻助教授を選出。

14・00　文闘委から電話で経理課長に対し、学友会費の還元を要求話し合い約四時間に及ぶ。

17・00　全共闘集団約五〇名が会館に入り、物品をリヤカーに積み封鎖中の建物へ搬入。

七月十一日

7・00　会館に十ヵ所法人・大学連名で「立入禁止」を掲示。

12・00　全共闘集団約二〇名が第一学舎から机をもち出し誠之館一号館へ運び、同二・三号館中庭を解放区として周囲にバリケードを構築。

14・50　法・文研究室旧館一階各部屋のドアを取りはずし、窓側を封鎖。

15・00　文闘委から電話で経理課長に対し、昨日に引きつづき学友会費の還元を要求。

八日付文教授会から学長あて、鈴木文学部長辞任承認・学長不信任の決議文書受理。

五日付経教授会・経済学部長名の声明受理。

18・00　理事会で中谷学長から学長及び教授職の辞意表明。理事会は決議をもって翻意留任方懇請。

七月十二日

10・30　十一日開催の理事会決議（写）「学長辞意表明に対する措置」プリントを教職員に配布。

16・00　教学部長・大学事務局次長が学長の代理として大学問題委員会の答申を受理。大学問題委員会はその任務を終えたので解散。経教授会で学部長代理に市原教授を決定。

20・00　学長から理事長に対し、留任を決意した旨表明。

七月十四日

9・00　学長名の「教職員の皆様へ」プリント配布。

七月十五日

大学問題委員会の答申を教職員に配布。

中田豊雄氏（明43専法）七月十四日老衰症で逝去、七十九才。十五日の告別式には徳島支部長斉藤徳蔵氏が参列、弔意を表した。

重油・軽油・石炭・セメント・生コンクリート・電線・架線金具の販売
各種食堂の経営・土地建物の売買
モータープール経営・養豚業
阪急産業株式会社
取締役社長　堀田正行
大阪市北区角田町33　阪急航空ビル

聯合紙器株式会社
大阪市東区平野町4丁目18番地
TEL 大阪(202)2371(大代表)

寒川労働コンサルタント
所長　寒川喜一
事務所　大阪市西区土佐堀通三ノ一九（西和ビル）
電話　大阪（四四一）[illegible]番
住所　大阪市西区南堀江立花通五の一九　市住南堀江住宅四〇八
電話　大阪（五四一）五〇九五番

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島一公
弁理士　辻本一義
大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）一一〇〇・一三九四（四四三）六一五〇

暑中お見舞申し上げます
校友弁護士有志

阿部甚吉

弁護士　東　栄
大阪市東区横堀二ノ一八
電話(231)二五二八

弁護士　弁理士　宇津呂雄章
大阪市北区宗是町一　大ビル三階三二二号室
電話(441)二八二三・一九三三

弁護士　上原洋允
弁護士　町　彰義
弁護士　柴山誉之
大阪市東区谷町一ノ二五
電話(941)(942)三七一七・二七〇一　三二〇九

弁護士　植垣幸雄
大阪市東区博労町二ノ四一　中博ビル五〇六号室
電話(262)(261)五三七一(代)　二二九一(交)

弁護士　梅原貞治郎
大阪市東区備後町二ノ二　野村ビル五階五一七号室
電話(261)一七四〇

弁護士　越智比古市
大阪市東区平野町二ノ三
電話(203)(231)七三四九　六〇一六

弁護士　大江篤弥
大阪市南区高津町四番丁七八
電話(633)(631)〇〇八七　〇一四九

弁護士　大月　伸
大阪市西区土佐堀一ノ一　大同ビル七二三号室
電話(441)二六七一

大原法律事務所
弁護士　大原　篤
弁護士　大原健司
大阪市北区若松町三三
電話(364)〇三六一

押谷富三

弁護士　加堂正一
大阪市福島区上福島南一ノ一〇七
電話(451)六〇六二

関西大学校友会長
弁護士　櫟本信雄

弁護士　川根洋三
大阪市北区絹笠町一六　大江ビル三階三二号室
電話(364)二〇〇一・〇七〇一

弁護士　木村吉治
大阪市北区老松町三ノ四五　老松ビル三階
電話(362)(361)七六五〇　一四五

弁護士　佐野　実
大阪市北区樋上町三八　藤ビル二階三号室
電話(361)七五八八　(362)五五一〇

弁護士　渋川鶴蔵
大阪市北区絹笠町八
電話(364)五三四〇

弁護士　白井　誠
大阪市南区安堂寺橋通一ノ四四　安堂寺橋ビル四階
電話(261)〇九一二四

弁護士　白井正実
大阪市東区備後町二ノ二　野村ビル五階五〇三号室
電話大阪(261)〇二六〇（事務所）　千里(72)二一七〇（自宅）

下村合同法律事務所
弁護士　下村末治
大阪市北区若松町三七　ニュー若松ビル三階
電話大阪(363)七八八一～三

田中藤作

弁護士　田村徳夫

第一法律事務所
弁護士　鷹取重信
弁護士　家近正直
大阪市北区梅ケ枝町一一八　千代田ビル別館八階
電話(361)二八六九(代)

弁護士　棚野誠幸
大阪市東区備後町三ノ二五　長谷ビル四階二〇一号室
電話(261)三二二四

弁護士　谷口茂高
大阪市北区絹笠町一六　大江ビル二階二〇四号室
電話(361)三二六五

弁護士　段林作太郎
大阪市北区若松町三二（裁判所北門東側）
電話(364)三〇一四

弁護士　鳥巣新一
大阪市東区淡路町二ノ八　野口ビル四階
電話(202)二〇六　(231)八四一六

長浜法律事務所
弁護士　中藤幸太郎
大阪市北区真砂町五四　ニュー三栄ビル三階二号室
電話(363)二四二三　(361)〇三二九

弁護士　長浜　靖
大阪市北区梅ケ枝町一一八　千代田ビル別館七階
電話(363)一七五八～九

弁護士　浪江源治
大阪市北区老松町二一　北区商工会館三階
電話(364)六四六六

弁護士　西村　登
大阪市北区絹笠町一六　大江ビル四〇九号
電話(361)〇〇三七　(364)一九〇七

弁護士　原田永信
尼崎市北竹谷町二一〇二
電話(411)二五四七―八

弁護士　藤原光一
大阪市東区北浜二ノ八〇　北浜ビル三階（証券取引所前）
電話(231)三八二八・四七八〇

弁護士　別城遺一
大阪市北区堂島北町六　大西ビル三階（毎日新聞社前）
電話(344)〇三四〇

弁護士　前田常好
大阪市北区絹笠町一六　大江ビル三階
電話(361)六八六六

弁護士　南　政雄
大阪市北区樋上町六四　大三ビル六〇三号室
電話(364)(361)八五一七　六七七三

校友会代議員会議長
弁護士　安富敬作

弁護士　山口周吉
大阪市西区江戸堀北通一ノ一九　オカタビル二階二〇七号室
電話(443)二四三〇
自宅(671)五八七六

弁護士　渡辺敏泰
大阪市北区真砂町三　真砂ビル二階一九号
電話(362)六八二一

45年度入試概要決まる
一・二部同時に
二月一日から六日まで

昭和四十五年度入学試験実施概要が発表された。これによると、昭和四十四年度との相違は、①一部、二部を同時に行なうこと。②二部も地方試験で受験できるようになったこと。③工学部の二次試験は実施しないことなど。

▽募集学部・学科・人員◇

第一部（昼間部）

法学部（法律学科、政治学科）　約五〇〇名

文学部（英文学科、国文学科、哲学科、仏文学科、独文学科、史学科、中国文学科、教育学科）　約四〇〇名

経済学部（経済学科）　約五〇〇名

商学部（商学科）　約五〇〇名

社会学部（社会学科「社会学専攻」「マス・コミュニケーション学専攻」「産業社会学専攻」）　約四〇〇名

工学部（機械工学科、機械工学第二学科、電気工学科、化学工学科、応用化学科、金属工学科、管理工学科、土木工学科、建築学科）　約一〇〇〇名

第二部（夜間部）

法学部（法律学科、政治学科）　約三〇〇名

文学部（英文学科、国文学科、哲学科、仏文学科、独文学科、史学科、中国文学科、教育学科）　約一五〇名

経済学部（経済学科）　約三〇〇名

商学部（商学科）　約一五〇名

社会学部（社会学科）　約一〇〇名

◇試験期日・出願期間◇

2月1日（日）　商学部（一部・二部）

2月2日（月）　法学部（一部・二部）

2月3日（火）　工学部（一部）

2月4日（水）　社会学部（一部・二部）

2月5日（木）　文学部（一部・二部）

2月6日（金）　経済学部（一部・二部）

2月1日（日）　地方試験（一部・二部全学部）

【郵送出願】

昭和四五年一月一二日（月）～一月二四日（土）期間内に必着のこと

【窓口出願】

昭和四五年一月一六日（金）～一月二八日（水）日曜日を除く毎日10時－16時

但し、地方試験出願は一月二四日（土）まで

◇地方試験地◇

金沢、名古屋、高松、広島、福岡、鹿児島

◇試験科目・配点◇

法・文・商・社会学部（一部・二部）・経済学部（二部）

外国語（英語B）　二〇〇点

国語（現代国語、古典乙I）　二〇〇点

社会・数学（「政治・経済」「日本史」「世界史B」「地理B」「数学I・IIB」のうちから一科目選択）但し商学部は「商業簿記」でもよい。註・選択科目名は出願の際に届出ること、届出後の変更は認めない。　一五〇点

経済学部（一部）

外国語（英語B）　二〇〇点

国語（現代国語・古典乙I）　二〇〇点

数学（数学I・数学IIB）但し数学IIBのうち三角関数とベクトル、図形と座標を除く。　一〇〇点

社会（「政治・経済」「日本史」「世界史B」「地理B」のうちから一科目選択）註・選択科目名は出願の際に届出ること、届出後の変更は認めない。　一〇〇点

工学部（一部）

外国語（英語B）　二〇〇点

数学（数学I、数学IIB、数学III）　二〇〇点

理科（物理B、化学B、二科目とも必須）各一〇〇　二〇〇点

＜注意事項＞

一、第一部と第二部の試験期日は同じ日である。

二、地方試験は第二部についても実施する。

以上が発表された概要であるが「募集要項」は10月下旬に発行される予定である。

すべり出し快調
44年度就職　35パーセント内定

昭和四十四年度就職状況は昨年より約一ヵ月も早く求人があり、六月末現在ではほぼ四千社が出そろい、またすでに就職内定した者は三割五分を上まわるほどの快調ぶりである。その内訳は文科系では法学部、経済学部、商学部、文学部の順で、技術系では工学部の機械科や電気科で内定した者が多い。

今年の特色としては、昨年度まで全く求人のなかった大企業からもかなり来ているという点があげられ、関係者も「今日の経済状態をみても、それに中小企業の人手不足はもう限界に来ているので、今年の就職はかなりいいだろう。八月末までには七割ぐらいが決まるのでは…」と楽観的な見方をしている。

笑いから幻想まで
二千五百の観客魅了
千里ミュージックフェスティバル

第20回千里ミュージックフェスティバル
主催 関西大学学友会文化会

二千五百名の観客を集めた第二十回千里ミュージックフェスティバル

文化会主催の第二十回千里ミュージックフェスティバルは、六月二十日午後五時半から大阪中之島フェスティバルホールで、約二千五百名の観客を集めて開かれた。

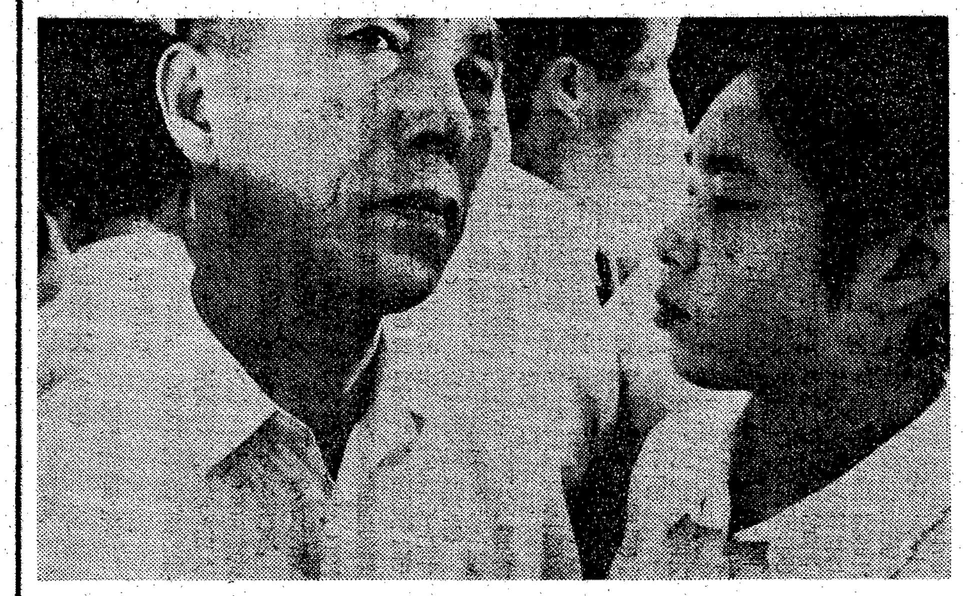
今年で二十回を迎えた千里ミュージックフェスティバルは文化会の年間最大行事であり、八クラブが参加、放送研究会の司会で行なわれた。

前半まずギタークラブが、スペイン名物、闘牛に欠かすことのできないパソ・ドブレというリズムを持った行進風舞曲「エスパニア・カーニ」、映画「西部開拓史」のサブテーマだった「牧場のわが家」の原曲「グリーンスリーブス」他「アンダルシア」「アラビア風綺想曲」の四曲を演奏した。続いて奇術研究部が「PIGEON」「OBAQ」「JUMBO CARDS」「CANEandHOUSE」の奇術を演じ、客席を幻想の世界へ誘った。

吟詩部は「白虎隊」の他、広島長崎に落とされた原爆の後、平和を求めて作られた「平和の鐘」の「平和鐘」、部のモットー「美にして雄」をうたいあげた「吟詩部詩」を吟じた。また演劇研究部「学園座」は、まがいもの教育をマガイモノミュージシアルで楽しく風刺する黒い教室の悲劇という「授業」を熱演。

休憩の後、能楽部が「羽衣」を、客席をいつも爆笑のうずにひきこむ落語大学は、六代目学長、千里家鈍九里が、おはやし、船頭唄で船旅のふん囲気をかもしだすなど、上方落語の味をふんだんに盛り込んだ「三十石」をそれぞれ演じた。

『生きる』を追求



第14回　全関大写真部展

第十四回全関大写真部展は七月四日から八日まで、サンケイ会館三階のサンケイ・サロンで開かれた。

今回は「生きる」というテーマで、最も大切であり、逆に最も軽視されやすい人間の本質的問題を考え、につめ、その問題点を多くの人々に訴えるため、約三十枚の組写真で行なったもので、数千本におよぶネガから約二千枚の写真が出され、そこから三十枚の写真を選んだ。個人作品は「都会」「幻想」「北国の子供」「チンドン」「夢」「役者」「What for?」「フランコ」OB作品は「習作」「海」「パリ－3」

第11回関大"邦楽の夕"
御堂会館に1200名の観客

文化会邦楽部主催・芦声会（邦楽部OB会）協賛の第十一回関大"邦楽の夕"が、六月二十一日午後五時半から本町の御堂会館で行なわれ、雨もかかわらず学生・一般市民約千二百名の観客がつめかけ演奏に聞き入っていた。

演奏曲目は、本曲「朝露」夏の朝の池の辺に蓮の花が開く情景を表わしている。新曲「葦のうた」段物の形式にならい一段一三〇拍の七段からできている。多くの制約（人生）の中でいかに自由にふるまうことができるかという意味を含んでいる。本曲「瀬戸の舟行」瀬戸内海の美しさを船頭の浜唄や小島の間を船が進みゆくさまなどで表わしている。地唄「ままの川」箏曲「明治松竹梅」構成曲「四季の糸」春の巻「元禄花見踊り」「春の調べ」夏の巻「岸の柳」「菖蒲浴衣」秋の巻「雲井九段」「秋の色種」冬の巻「黒髪」フィナーレ「越後獅子」で構成されており今までの演奏形式を抜け出したものとして始めて試みられた。

箏曲「みだれ」詩吟「兵児謡」吟詩部との合同演奏、地唄「虫の武蔵野」芦声会の演奏、新曲「秋の調」混声合唱団"ひびき"との合同演奏、本曲「和春調」芦声会の演奏、新曲「御所の秋」邦楽部員と"ひびき"との合同演奏。

また邦楽部は九月二十三日に北御堂津村別院で村治流演奏会を行なう予定。

夏休み中の各部の活動

岡山方面で夏期移動法律相談所

学術研究会の法律相談所は、八月二十日から岡山方面で第十一回夏期移動法律相談所を開設する。

法律相談所は法理論を実際化し生きた法律を学ぶことを目標に活動を続けており、毎週土曜日に天六学舎において定期法律相談を行なっている。定期法律相談には常に多数の相談者があり、再三にわたって相談にくる人もあるなど、その信頼は高く、現在では市民の公の機関ともいうべき地位を築き上げている。

今年の日程と参加予定者は次のとおり。

▽八月二十日　大阪発、八月二十一日　西大寺で法律相談、八月二十二日　倉敷市で法律相談、八月二十三日　岡山市で法律相談、八月二十四日　岡山市より帰路。

▽所長・岩木甍法教授　指導者・明石三郎法教授　福永有利法助教授　高橋三知雄法専任講師　岩崎憲治法専任講師　青木周三法助手　上原洋允弁護士　紫山誉之弁護士　板東平弁護士　安田喜八郎弁護士　法学部卒業生五名　学生責任者・上田恭嗣学生所長　相談員・法律相談所員六十名。

弁論部が山口夏期地方遊説

関西大学弁論部は年間の集大成として全国夏期遊説を毎年行なっているが、今年は、大阪山口県人会、関西大学、校友会山口県支部などの後援のもとに、八月六日から十二日まで山口県を中心に、山口夏期地方遊説を行なう。

山口県の人々と共に現代の諸問題を提起し合い、その新しい道を探究しようと、街頭演説、会場演説および座談会などを企画している。

日程は次のとおり　①は街頭演説で午前、②は会場説・座談会で午後。

▽七日（山口市）①山口市役所前②山口市福祉センター

▽八日（小郡町）①小郡駅前②小郡中央公民館

▽九日（徳山市）①徳山駅前②徳山市民会館

▽十日（周東町）①周東町市場前②周東町公民館

▽十一日（岩国市）①岩国駅前②岩国市中央公民館

岩国、尾道で落大夏期合宿

文化会落語大学は、大学生として上方落語の普及に参加し、努力することを目的に、八月二十八日から九月五日まで岩国、尾道で夏期合宿を行なう。落語大学は毎年病院や養老院の慰問を行なって喜ばれているが、今年も行なう他、公演も企画している。

日程は次のとおり。

▽岩国　八月二十八日－九月二日

二十九日　慰問

三十日　岩国中学校公演

三十一日　岩国労働会館公演

▽尾道　九月三日－五日

三日　慰問

五日、尾道市公会堂公演

二部ESS勉強会
浜坂中学校で合宿

二部ESSは八月四日から十日まで兵庫県三方郡浜坂町の浜坂中学校で、第十七回サマースクーリングを開催する。これは地方の中学生を対象に英語勉強会を行なうもので、部員の英語技術の向上を目的として、合宿を兼ねるもの。

法関交換演奏会

関西大学グリークラブと法政大学アリオンコールの第八回法関交換演奏会が、六月二十七日、大阪厚生年金会館中ホールで開かれ、約九百名の観客がつめかけた。

両クラブは昭和三十五年から毎年交互にその大学へ招いて演奏会を開いているもの。

法政大学アリオンコールは大正初年に結成され、昭和十五年には藤原歌劇団の援助を得て、第一回定期演奏会を催しており、今年で十九回を数えるなど輝かしい歴史をもつ合唱団で、「日本の民族の言葉と心を大切に守りたい」との意図を持って活動を続けている。

また関西大学グリークラブは今年で創立二十年、コンクールにおいても常に一位、二位を争う合唱団になり、法関交換演奏会の他、関西六大学合唱演奏会、毎年十二月の定期演奏会、春休みの演奏旅行、TV出演など、学生である立場を認識しつつ意欲的に活動している。

第一部はまず法政大学アリオンコールが「Sea Chanty」より「High Barbary」「Shenandoah」「Low Lands」など五曲を、続いて関西大学グリークラブが、男声合唱組曲「艶呪」（「呪いに送られるバラ」「暁の香料」「曼陀羅を食う縞馬」）を演奏。

休憩のあと、[illegible]

クローズアップ
淀川スイミング・スクール　山本新吾コーチ

水泳指導で人間形成

山本コーチ

大淀区にある淀川善隣館、大正十三年に青少年福祉センターとしてキリスト教牧師によって創設され、現在英会話や体操など各種の教室がある。その中の水泳教室として昭和四十二年九月に開校された淀川スイミング・スクールでは二〇名ほどのコーチが一四〇〇名余の生徒を指導しており、そこで山本新吾主任コーチをはじめ、寺尾豊、古妻武志、石原悟、井上徹の五人の関大水泳部出身者が活躍している。

淀川スイミング・スクールは全国で四〇余りするクラブの中で五六番目につくられ、底辺の拡大ばかりでなく、"手ほどきから選手の育成まで"を目標に精神面での指導も取り入れ、人間形成を目指した水泳指導を行なっている。

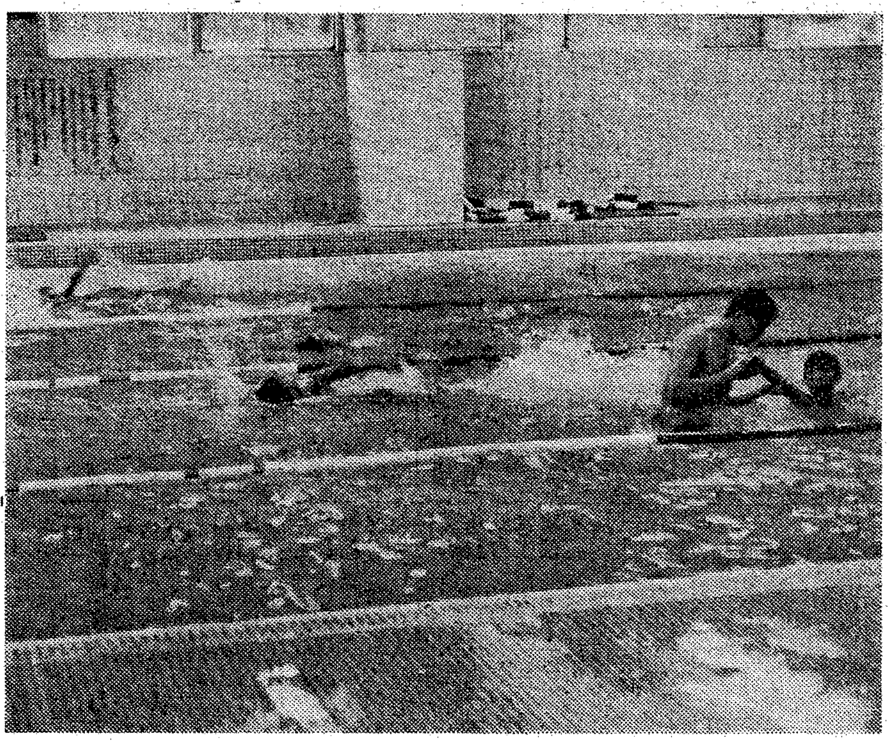
山本新吾氏をクローズ・アップすると、小学校一年の時、近くの川でおぼれたことがこの道にはいるきっかけで、水泳を通して「人間はみな水に浮くことができる。ただ泳ぎ方がまずくて泳げないだけだ。また同じ人間である限り特殊な能力を持った人はいない。誰でも努力を積み重ねれば、それだけレベルを上げることができる。自分の身体で得たことは自信につながる」と言う。

関大時代から水泳一筋に生きてきた。昭和三十五年に全国勤労者大会で、日本新記録も樹立しており、三十才を過ぎても泳いでいる人は数少ないと言われる。昭和三十八年に東京オリンピック強化のため、タイ国主任コーチとして水泳連盟より派遣された。しかし予想以上の日本水泳界の不振ぶりが同氏を奮いたたせ、「自分の持てる力は水泳以外にない、これを次の人に教えることが自分の道であり、水泳でできるだけのことをして一生を終りたい」と思ったそうである。

体育館や体力測定室、そして室内温水プールなど見学中にも廊下で会う子供達と話す。学校教育で足りないところを教育する上で一面厳しさがあるが、やはり子供達にとっては気安い先生であり、泳げない子供達を選手にまで育てることを目標に五年周期の二〇年計画で日本水泳会を盛りあげていこうとする同氏の期待があふれている。

現在スイミング・スクールは全種のブームで、以前敬遠されていた"教育ママ"は"体育ママ"に変りつつあるが、「まず身体をつくり、その上に教育を」という同氏にとって、これは喜ばしいことだと言う。

家族は夫人と男の子一人の三人暮らし。悩みは余り忙しすぎて自分の時間がないことだそうである。



"手ほどきから選手の育成まで。プールにはいって直接の指導

関大人事

[illegible]

このバラはあなたの花
思いの品を
ご満足感と
ともにお包
みする……
タカシマヤ
のバラの包
装紙
大阪・なんば
高島屋
電話631-1101

大阪淀屋橋と京都三条を結ぶ
京阪特急
朝 6時40分より
夜 23時50分まで
毎時0分・20分・40分の
20分毎発車
(23時の今・20分・50分)
のりば…
京阪電車
淀屋橋・北浜・天満橋・京橋・七条・四条・三条

暑中お見舞申し上げます
校友弁理士有志

弁理士　秋山源蔵　[illegible]
弁理士　泉本正隆　[illegible]
弁理士　宇津呂義雄　大阪市北区堂島上　砂古ビル　電話(341)[illegible]
オイカワ特許法律事務所　弁理士　及川昭二　東京（特許庁北）電話〇三－五八一－[illegible]
弁理士　岡田英彦　関西工専機械[illegible]　名古屋市中区栄二ノ[illegible]　名古屋商工会[illegible]　電話〇五二－二二一－[illegible]
弁理士　大中清一　大阪市都島区高倉町[illegible]　電話(928)四三[illegible]
鎌田特許事務所　弁理士　鎌田嘉之　和田昭之　[illegible]
川口清会特許事務所　所長　川口清　[illegible]
校友会東大阪支部長　弁理士　喜多庄次　[illegible]
弁理士　岸本芳夫　[illegible]
北野特許事務所　弁理士　北野重治　[illegible]
弁理士　北谷寿一　[illegible]
弁理士　小嶌龍太郎　[illegible]
弁理士　佐々木芳郎　[illegible]
岸本守一特許事務所　弁理士　清水久義　[illegible]
弁理士　島田大八　[illegible]
校友会羽曳野支部長　弁理士　杉本巖　[illegible]
鈴木国際特許事務所　弁理士　鈴木武夫　[illegible]
弁理士　鈴木茂　鈴木ハルミ　[illegible]
角田内外国特許事務所　弁理士　角田好太郎　角田嘉宏　[illegible]
弁理士　田中謹二　[illegible]
弁理士　田中高秋　[illegible]
津田特許事務所　弁理士　津田直久　立川登紀雄　[illegible]
弁理士　蔦田博史　蔦田璋子　[illegible]
弁理士　東耕龍男　[illegible]
中尾特許事務所　弁理士　中尾房太郎　[illegible]
弁理士　半井政夫　[illegible]
弁理士　野口房雄　[illegible]
弁理士　花本巖　[illegible]
弁理士　藤田時彦　[illegible]
藤原特許事務所　弁理士　藤原忠義　[illegible]
弁理士　藤川建治　[illegible]
丸山特許事務所　弁理士　丸山喜三造　丸山信子　丸山敏之　[illegible]
弁理士　溝上満好　[illegible]
宮地特許事務所　弁理士　宮地正一　[illegible]
森本特許事務所　弁理士　森本義弘　[illegible]
内外国・吉木特許事務所　弁理士　吉木由雄　吉木由蔵　[illegible]
弁理士　吉見久範　[illegible]

随筆　短歌と俳句

青葉の嵐山・嵯峨野

木山源一

初夏の陽光がさんさんと輝やき滴たるばかりにみどりが映えるここ洛西、嵐山は、背後に小倉山、亀山を擁して美しく、絵画、写真にあまりにも有名なところです。

大堰（い）川の流れは、陽にきらめき、風も光り、水も光り、若葉、青葉にこの景勝の地は情趣溢るるばかりであります。大堰川に架かる渡月橋は擬宝珠（ぎぼうじゅ）をつけて昔ながらに、舞妓姿の京女を連想させる風雅な橋で親しまれます。

ご存じのように、この川の上流は保津川下りで有名な保津川であり、下流は桂川と呼ばれて淀川に通じます。

渡月橋を渡ると土産物店が両側にならび嵯峨名物、お茶漬定食などの幟りがでております。

天龍寺は、足利尊氏が後醍醐天皇の冥福を祈るため建立されたもので、建立資金を得るために元に天龍寺船を派遣したことはよく知られるところであります。

ここの庭園は夢窓国師の作庭になり、雄大で変化に富む名園として曹源池はことに有名です。広大な境内には松樹茂り、かつて秋のころ、ここを訪れ、作句したことが思い出されます。

（俳句）

老松に　秋日抱いて　天龍寺

（俳誌掲載）

この近くから嵯峨野に入ります。嵯峨野といえばすぐ竹藪、竹藪といえば嵯峨野を思い出す位によく知られております。

嵯峨野の竹林

野々宮の井戸

この竹藪がつづいて嵯峨野独特の情緒をかもし出します。そして小鳥の声があたりの静寂を破ります。

（短歌）

嵯峨野路の竹群の中青深き光ただよひ小鳥鳴きゐる

（よみうり歌壇賞、受賞）

竹群の静けさがつづくなかに、しばらく行くと野々宮があります。竹（たか）群、木（こ）群の中に、小暗く、深閑とし、しじまの中に坐す祠に参拝します。

この野々宮は源氏物語にも描かれていますが、未婚の皇女が、伊勢神宮の斎宮（いつきのみや）に選ばれたのち、伊勢へ発向するまで潔斎のために一年間、ここにこもる清浄の宮とされております。

境内には黒木の鳥居や、小柴垣、野々宮の井（丼戸）があり、往時をしのばせます。

かつて秋のころ、このあたりで句作したことがあります。

（俳句）

山鳩の　啼きほうけたる　竹の春

（俳誌掲載）

竹の春とは秋、竹の新芽が出るころをいいます。

竹藪がつづく道が開け、視界が明るくなると落柿舎に出ます。この付近は、最近住宅地が造成され、昔のおもかげが削られていきます。なんとしても、竹藪が切り開かれていくのは惜しいものです。

この落柿舎は、俳人向井去来が住み、この近くにあった元の落柿舎には師の芭蕉が逗留したことがあります。一夜の嵐に柿が落ちたところから、名付けられたとか。

また裏手の林中に烏帽子（えぼし）型の自然石に去来の二字を刻しただけの小さい去来の墓があります。

このあたりより山手がわに常寂光寺の多宝塔が見えます。常寂光寺は小倉山の中腹にあり、御亀山天皇の小倉殿跡に、文録年間、究竟院（くきょういん）日禎が隠退したところといわれ、この多宝塔は重要文化財となっており、境内に百人一首で知られる藤原定家の歌仙祠があります。

この山に沿って二尊院があります。ここの寺門は壮大で桃山時代の遺構となっております。本堂に釈迦如来像と阿弥陀如来像の二尊を安置するところから二尊院と名づけられたものです。ここは法然上人の庵居の地でもありました。

かつて花のころ、ここを訪れたとき、いまはなき茶店に落花しきりとありて、詠んだ句があります。

（俳句）

花屑のたまりし茶店しまひをり

（俳誌掲載）

また夏のころ、このあたり蝉の声にぎはしく、夕べひぐらしの声が一段と冴えて、詠んだ句もなつかしく思い出されます。

（俳句）

松風に蝉時雨して暮れにけり

（俳誌掲載）

さらに奥には有名な祇王寺があります。祇王寺は平清盛の寵愛を失った美妓、祇王、祇女がかくれ住んだところで、ここに墓があります。平家物語、ロマンの舞台でありました。

また滝口入道で有名な滝口寺があり、さらには仇野念仏寺があります。この仇野は旧くから墓地として知られ、鳥辺野とともに有名なところであります。ここに有縁、無縁の石仏（小石塔）があり、盂蘭盆には無数の灯明が灯され見事な景観であります。

嵯峨野にはまだまだ史話に豊富な旧跡が多いところであります。

（校友―大阪市福島区役所、教育係長）

6月4日大阪市より永年（25年）勤続表彰を受けました。平素のご鞭撻に厚くお礼申します。

移転

▽浅野照雄（昭三二学一法）宝塚市御殿山三ー一ー八ー四三

▽飯沼勝司（昭四四学二経）静岡市曲金一二三七三洋駿河寮【三洋電機㈱特殊静岡営業所】静岡市長沼八八五

▽石尾晃一（昭四四学一法）京都市北区紫竹牛若町四五今村方

▽稲崎清（昭二六専二経・昭三〇学二商）奈良市紀寺町七〇九紀寺合同宿舎二三三【奈良税務署】奈良市登大路町

▽岩本信正（昭八専二法）奈良県生駒郡生駒町旭ケ丘三の二七【大阪高検検事】大阪市北区若松町

▽上羽政博（昭二二専一商・昭二五大経）埼玉県与野市大字与野七三七の七一ローズマンション五〇七号

▽内海完一（昭一四専二法）広島市宇品町四六四【県立広島病院】

▽浦井憲三（昭四四学一法）東京都世田谷区砧町九八大都商事㈱青雲寮内【大都商事㈱東京支店】東京都千代田区麹町四ー二泉ビル内

▽大沢健（昭四四学一史）大阪市生野区鶴橋北ノ町一ー五五八八【市民大学講座大阪校事務局】大阪市天王寺区小橋西ノ町八ー九

▽岡本敏明（昭四四学一商）神戸市東灘区住吉宮町四ー六ー四【㈱カイゲン】

▽加賀谷敬二（昭三二短二）福井市松本一ー一三ー一八北陸銀行松本荘内

▽笠本増男（昭三七学工化）和歌山市榎原一四〇ー三三

▽菊地誠（昭四四学工応化）芦屋市西芦屋町六ー九

▽衣川吉雄（昭四四学二法）奈良市鶴舞東町一番公団鶴舞団地四二号館一一〇号室【大阪府泉南地方事務所】岸和田市野田町二〇二

▽工藤宣光（昭四三学二経）河内長野市千代田南町二三ー一六

▽楠井誠志（昭三六学一経）名古屋市瑞穂区石田町三ー三ー一

▽黒岩博（昭一六専二法・昭一九大法）奈良市法華寺東町一三三五

▽小出賀一（昭三三学一法）宝塚市切畑字長尾山二ー五五五

▽小島一男（昭三八学一新）守口市桜町二四京阪青果内

▽小滝旦光（昭三九学一法）札幌市真駒内曙町一ー一、一五ー五〇一

▽小堀実（昭一九専二経）名古屋市昭和区天白町平針字黒石県営平針住宅八ー六四【中日新聞名古屋本社編集局】名古屋市中区丸の内

▽佐竹雄三郎（昭三七学一法）大阪市東淀川区島頭町四七犬飼方

▽斎藤忠夫（昭三一学一経）東京都北多摩郡久留米町本町三ー二A三〇三

▽鷺沢衛也（昭二八学二法）神戸市垂水区多聞町字狐坂一七九ー一七八

▽島久雄（昭三七学一商）東京都北多摩郡久留米町滝山公団六一ー一ー七ー二一〇

▽島本洋文（昭四三学一法）名古屋市南区桜本町二ー二八うげつ荘【総合労働研究所中部事務所】名古屋市中区新栄町三ー三一日産生命ビル内

▽卜田耕三（昭二七短一・昭二九学一商）愛媛県新居浜市泉宮町四番三二号

▽杉野原憲夫（昭四四学工管）愛知県半田市岩滑中町六ー二二岩滑寮内

▽鈴木隆志（昭四四学一商）広島市東雲二丁目一一ノ三五松本組東雲アパートB棟二階八号

▽鈴本文雄（昭三九学一経）長崎市本原町二七ー九【千代田生命長崎支社長崎北営業所々長】

▽砂川淳二（昭一九専二法・昭三二大法）神戸市須磨区東須磨南町三ー四ー一三

▽田頭勝（昭四〇学一商）堺市今池町四丁二番三四号

▽多胡行夫（昭四四学一経）豊中市庄内西町二ー一二ー二〇宝来荘【宝塚映画製作所】宝塚市武庫川町六ー二八

▽高田真次（昭四四学一商）広島市戸坂中島一四七ー六【高千穂交易㈱広島支店】広島市幟町一三ー一四新広島ビル

▽高附重幸（昭四四学一商）高槻市富田町六ー二四ー九寺井ハウス内【大塚製薬㈱京都支店】京都市中京区烏丸三条角京都B・K四F

▽高梨正彦（昭四三学一商）明石市相生町一ー七〇【浅沼商会大阪営業所】

▽蒿島良忠（昭四三学二法）東京都中野区新井三ー一一法務省宿舎二号棟四八号【法務省民事局】東京都千代田区霞ヶ関一ー一

▽谷川高則（昭四四学工管）庄原市本町宮ノ下一一九【有信精器庄原工場】庄原市新庄町三六六ノ二

▽谷口茂高（昭二九学二法）豊中市新千里北町二ー三三ー一五【谷口法律事務所】大阪市北区絹笠町大江ビル二〇四号室

▽戸根泰雄（昭四大予・昭七大経）西宮市甲東園二ー二ー四

▽友重裕之（昭三九学一商）東京都江東区猿江二ー四ー九早川方

▽中熊章三（昭一三大予・昭一六大法）大分市中島西一ー二ー九食糧宿舎

▽中村豊（昭九専二商）高槻市南平台三三ー七八

▽浜田政夫（昭四四学一法）吹田市千里山松ケ丘一〇ー三五高瀬勝方【関大大学院在学中】

▽浜野友道（昭四四学一商）姫路市網干区浜田四八八【日本旅行姫路営業所】

▽林晴彦（昭三〇学一商）吹田市千里山西一ー二三ー二二【㈱河合電線製造所】

▽林文郁（昭三四学二法）前橋市後閑町九七ー一〇

▽福島和三郎（昭三九学二商・昭四二学二法）豊中市中桜塚五ー二ー一ー一二二【ヒロタ印刷製袋工場】豊中市中桜塚四ー一三ー一六

▽古沢久一（昭四〇学二法）滋賀県八日市市上羽田町七三九

▽間戸場秋三郎（昭一五専二法）高槻市弥生ヶ丘町二六番二一号

▽前田浩（昭三七学工電）横浜市保土ヶ谷区明神台四八ー一

▽牧野高幸（昭三七学一英）大阪市東住吉区喜連町一八六〇喜連団地一ー二〇三

▽宮田八東（昭三大予・昭六大法）茨木市春日一ー一〇ー二

▽村上文隆（昭四一学工電）北九州市若松区原町一二番二八号

▽村瀬健三（昭四四学一商）芦屋市打出親王塚町一二ー二四富士工業㈱芦屋寮内

▽森亮（昭三三学一法）大阪市旭区北清水町九九八

▽森川頼幸（昭四四学一法）西宮市神原五番二号棟五〇四号

▽森坂初男（昭四四学一経）京都市伏見区桃山羽柴長吉西町一四伏見信用金庫桃山寮内

▽森塚克進（昭三九学一商）高槻市弥生ヶ丘町一二ー一二

▽森本正宣（昭一〇専二法）舞鶴市円満寺八丁【京都地検察庁舞鶴支部】舞鶴市円満寺八ー二六

▽安井俊治（昭四四学一哲）高槻市日吉台二番町二ー一ー一

▽山県啓迪（昭四四学一経）郡山市富久山町久保田字大原一九八青雲寮【宇部日東化成㈱郡山工場】郡山市長者一ー一ー六三

▽山下康夫（昭四四学一商）柏市二余二字庚塚二七六津田産業㈱内

▽山田あけみ（昭四四学一仏）豊中市上津島一三五ー三六【凸版印刷㈱】大阪市福島区海老江四ー一二三

▽山田太郎（昭三六学二商）東京都保谷市栄町一ー九ー一四【ステンレス鋼板㈱本社】

▽山本紘（昭四〇学一商）尼崎市千鳥町四ー五

▽横尾保徳（昭三七学工電）愛知県瀬戸市品野町六ー五一【日東工業㈱】

▽横田公生（昭四四学工金）千葉市浜野町四二二川崎電機第一寮

▽岩崎孝夫（昭四三学一史）三木市口吉川町大島

▽石津正之（昭三三学二経）吹田市南金田一ー五ー二九

▽磯貝欽一（昭三六学一商）枚方市楠葉一八九五の四二八

▽井上利夫（昭三六学一経）宮崎市南花ヶ島五の三

▽岡野圭一（昭四四学一法）東京都渋谷区渋谷一ー二四の二の三号東洋敷物東京支店営業三課

▽奥村孝（昭二五専二法）神戸市兵庫区山田町古谷字古々山二九ー一四〇

▽鹿島新一（昭一三専二商）大阪市阿倍野区昭和町四ー四ー三

▽片山恂（昭三三学一法）尼崎市森植松一八八ー二

▽加藤信之介（昭二八学二法・昭二九学二政）芦屋市精道町九ー二二

▽金沢正夫（昭一九大法）東京都目黒区五本木一ー一八ー一一

▽川崎保（昭三九学一法）神戸市灘区八幡町二ー七二【いずよね】神戸市東灘区御影塚町二ー九ー一七

▽菊井儀勝（昭四二学一法）尼崎市浜字角田一〇

▽小寺太郎（昭三九学一東）東京都世田谷区若林二ー二五ー一四池上三郎方【日生日本橋支社選抜養成所】東京都中央区日本橋江戸橋二ー五日生江戸橋ビル内

▽後藤雅孝（昭二八学二法）高槻市安岡寺町四ー五六ー六

▽後藤安孝（昭三一学一法）東京都台東区松が谷一ー四ー一一

▽坂口克喜（昭二九学一経）神戸市兵庫区山田町上谷上字古々山二五ー三三

▽佐武忠男（昭四三学一経）札幌市琴似八軒二条東一ー四九一【椿本興業㈱東京支店札幌営業所】

▽椎尾晋太郎（昭五大予・昭八大法）八尾市老原九二ー一〇志紀苑七号

▽志智正男（昭三七学一法）神戸市須磨区行幸町一ー一ー二〇、一二二五号【㈱日証】大阪市南区東清水町二二

▽志水一雄（昭三一学一法）尼崎市栗山字宮浦一七七の二

▽高井義昭（昭三三学一経）寝屋川市萱島流作二〇九九信住宅一ー一三

▽田中健介（昭二七学一商）静岡市北安東三ー八ー二四

▽棚橋武紀（昭二七学二法）大阪市阿倍野区播磨町二ー一〇ー九郵政住宅二五号

▽長岡敏行（昭二八学二法）[illegible]市大字垂水月見山一ー一ー四郵政[illegible]一〇三

▽西村省吾（昭四二学一史）[illegible]市浜字角田一〇郵政角田三号[illegible]

▽野村昇一（昭三四学二法）[illegible]市東住吉区喜連町五九ー一[illegible]

▽初瀬川孝幸（昭二六学一法[illegible]田市神田四ー四ー八

▽原納康之（昭三七学二法）[illegible]井市緑町五ー一七ー二八防衛[illegible]舎一七号

▽福井勝（昭四〇学一法）枚[illegible]新之栄町二八ー七

▽古野実雄（昭三八学一経）[illegible]阪市吉田二ー三ー八【薬[illegible]㈱】東大阪市鴻池一二三[illegible]

▽細谷幹夫（昭三三学一法）[illegible]市旭区大宮西之町八ー三ー一相[illegible]西之町二号宿舎

▽三上卓也（昭一五専二法）[illegible]市高松町二ー二ー一ー九

▽美馬健一（昭三三学一経）[illegible]市大名通り二ー一ー三八勝文化住[illegible]

異動

▽今倉恰（昭一一専二法・昭一四大法）大阪府北河内郡交野町私市一一七八ー一四【大阪市立文の里中学校校長】大阪市阿倍野区美章園一ー一五ー五二

▽上森勝夫（昭三六学一商）鹿児島県姶良郡姶良町西餅田五一一六【林田産業交通㈱バス部】鹿児島市東千石町一二ー二三

▽小池照太郎（昭三大予・昭六大法）松山市大字余戸二三八八市住三号【太平住宅㈱】松山市大手町

▽司馬正己（昭八大予・昭一一大法）神戸市灘区将軍通三ー一一五【兵庫県労働部失業保険課失業保険監察官】神戸市生田区下山手通五

▽檀浦美雄（昭三六学二商）堺市中百舌鳥町七丁一一〇六白鷺団地A二ー二〇三【㈱三菱電機ストア経営会計センター】大阪市北区堂島北町八ー一

▽戸田龍馬（昭二六学一法）伊丹市森本淵の上七七〇の三【伊丹市会副議長】

▽和田欣也（昭二九学二経）池田市豊島北二丁目一三ー一〇【大阪市立歌島小学校】大阪市西淀川区野里東四ー八七

▽赤星勝彦（昭四一学一新）佐賀県佐賀郡久保田村徳万田中サダ方【佐賀新聞社神崎支局長】

▽石橋安行（昭二九短二商）福岡市長住三丁目長住団地五〇ー四〇一【佐伯建設工業㈱九州支店営業課長】北九州市小倉区菜園場通一二

▽井上薫（昭二六専二法）明石市松ヶ丘一ー一二五、一二棟三〇五号【出光興産㈱姫路製油所】姫路市飾磨区妻鹿

▽遠藤敏雄（昭三専文・昭六[illegible]埼玉県入間市仏子一六八九[illegible]大学】東京都文京区白山五ー[illegible]一一〇

▽角野秋二（昭一三専二法）[illegible]市垂水区千鳥ヶ丘三ー二四ー[illegible]【神戸海運局】神戸市生田区[illegible]通

▽合田九子（昭三三学一経）[illegible]市福島区海老江上二ー一二[illegible]安子服飾学院教諭】大阪市東[illegible]士町二ー一五

▽近藤剛（昭四三学工電）三[illegible]一志郡嬉野町中川【神戸電[illegible]会】松阪市湊町字塩屋町二六[illegible]

▽坂根寅夫（昭九、二商・昭[illegible]専二商）豊中市本町七ー五〇[illegible]輪織物㈱】堺市百舌鳥梅ノ町[illegible]

▽辻勝一郎（昭一五専二法）[illegible]市北区旅籠町三五【三和鉄工[illegible]務部長】堺市山本町一ー一〇[illegible]

▽野沢光治（昭二五、二商）[illegible]市神田町四ー二五ー一二【京[illegible]急行電鉄㈱】池田市槻木町一[illegible]

▽野村一雄（昭四専法）大阪[illegible]河内郡河南町一須賀七〇五[illegible]喫茶麻雀経営】

改姓名

【　】内は旧[illegible]

▽河野健（昭四〇学一経）[illegible]健】豊中市服部西町三丁目[illegible]一

▽沢田明（昭四一学一新）[illegible]明】大和郡山市池沢町五六

▽高松和男（昭三四学一新）[illegible]松一雄】橋本市橋本一ー二[illegible]

▽滝川紀征（昭三九学二国）[illegible]本】吹田市江ノ木町二九ー[illegible]

関西大学を築いた人々

㉛　題字は　中谷敬寿学長

竹田　省

文学部教授　横田　健一

戦時下の　人文科学を守る

終戦の激動期切り抜け

竹田省（しょう）は、明治十三年、富山県氷見町に生まれた。金沢の旧制第四高等学校を経て、明治三十九年、京都帝国大学法科大学を卒業した。卒業してすぐ司法官試補となり、京都地方裁判所で裁判事務を修習したが、翌四十年、母校京大に帰り、四十一年には助教授に任官、商法学講座を担任した。大正元年から在外研究員を命ぜられ、フランス、ドイツ、イギリスに留学し、四年帰朝、教授に任ぜられた。

昭和七年、五十三歳のとき、未だ定年まで七年あるにもかかわらず、弁護士を開業するため退官した。しかし、法学部講師として講義を担当したが、翌八年、当時全日本を震駭（しんがい）せしめた滝川事件がおこり、滝川教授ら京大を去った教授たちと行動をともにし、講壇を降った。その後は、昭和二十九年二月に持病の高血圧のため、七十五歳でなくなるまで、弁護士として終始した。

商法学者としては、大正初年以来、戦前における日本の商法学界を、松本烝治（大正十四年から昭和三年まで本学学長）とともに代表する学者であったといわれている。

大正元年、かれが三十三歳のとき、渡欧前に完成した『商法総論』は、当時としてはまれにみる本格的な法律書であったのみならず、その体系の整備・研究の精緻、識見の卓抜、理論の明哲な点において、比類の少ない名著であるという。

厳密、透徹の理論

その学問的活動は、京大法学部の機関紙『京都法学会雑誌』およびその後身『法学論叢』を中心とする専門雑誌における論文と判例批評のあいつぐ発表となってあらわれた。昭和七年、京大を去る直前に『商法総則』『商行為法』の二著を刊行したが、これらには、円熟期の彼の著として、淡々たる叙述の中に、該博な学殖がにじみ出て、心にくいばかりの名著であるとされている。

大学を去ってのちにも、末川博（立命館名誉総長）とともに、昭和十年『民商法雑誌』を創刊し、みずからも論文や判例批評を執筆するとともに、後身の学徒を養成して、その論文をかかせ同誌を今ではもっとも権威ある法律雑誌にまでしあげた。

その学問は引用文献が非常に豊富で、研究範囲は商法全領域にわたり、外国文献まで非常によく読んでいたという。およそ多読家というものは、理論的体系性に弱くなりやすい欠陥をもつが、彼は強靭に理論を追究し、厳密かつ明断で透徹した理論でつらぬいた。しかし、弟子に対しても、自分自身の立場からの意見を主張するような態度は全く示さず、相手の立場に立って、理論に矛盾がないか熟考し、また弟子に対し、論文の執筆や読書についての指図などせず、講義もゆっくりした語調の静かなものであったという。

その点、松本烝治は、驚くべき回転の早い明断な頭脳で鋭く論敵を衝き、ときに強引の観を呈したといわれるのと対照的である。

彼が本学と関係をもつようになったのは、昭和七年京大退官後、大阪に弁護士事務所を持ち、これに通う傍ら、本学にも講師として立ち寄るにいたってからである。しかし、本学にとって、彼が重要な役割を果したのは、戦争末期から敗戦直後の激動期であった。

昭和十八年十二月、学徒動員によって敗戦の色濃い祖国を救うべき使命を負わされた大学生たちのほとんどは、学業を中途で放棄し、戦線へ出発した。千里山学舎も天六学舎も、少数の病弱の学生と少年学徒がのこされたが、これらも工場へ勤労奉仕にかりたてられ、学園は空虚に近くなった。

学生の大半が不在で、授業料の納入がないとすれば、私立大学の経済的基礎は危機におちいる。しかも軍部は、法文系大学を無用の長物視し、その統廃合を迫ってきている。まさに大学の興廃存亡の瀬戸際であった。

神戸正雄学長や理事者らは、理工科系の開設によって、学校の存続を企て、十九年四月、関西工業専門学校の開設をみることになった。しかし、財政的危機はなんともしがたい。ついに、三月末日をもって専任教員の約半数にあたる教授十九名および職員六名を解職し、関西甲種商業（一高前身）では小泉校長ほか四教諭、一教師、第二商業（同夜間部）では六教諭が解職という、本学はじまって以来未曽有の首切りが行なわれ、神戸学長も自らその責をとって辞任した。

19年学長事務取扱

十九年三月二十六日、新理事会が発足した。神戸学長に代るべき学長候補として白羽の矢をたてられたのが、竹田博士であった。三月二十六日に彼は監事に選任されてはいたが、弁護士の本務をやめられないというので、学長就任をあくまで固辞した。理事会もやむをえず五月十九日付で、学長事務取扱に彼を任じ、同時に、新設の「人文科学研究所長」に任命した。人文科学研究所とは、文部省が各私立大学に精神科学研究の施設を新設した場合には、研究員の三分の一の人員に対し、経常費を補助し、戦時下における人文科学研究を確保することにした措置によってできたものである。これは学徒動員によって文科系私立大学の潰滅するのを防ぐ手段でもあった。

本学は従来あった南方文化研究所を改組して、人文科学研究所とし、六月二十七日開所式を行なった。所員には、岩崎、磯部、中谷、森川、山木戸各教授、高木助教授が任ぜられ、のち加藤、河村（宣）、木村、中村、正井、矢口各教授が加えられた。また佐々木惣一、高田保馬両博士がそれぞれ法学、経済学各部門の指導を委嘱された。なお佐々木は、竹田の第一の親友であった。

研究活動としては、毎月の研究報告会のほかに、十九年十一月二日の第一回研究会以来、研究会が重ねられ、十二月九日には第一回公開講演会が持たれた。この間、竹田は通じて終戦前後の研究を統轄指導するとともに、軍需工場へ勤労動員の学徒の勉学や健康等につき学長事務取扱として、配慮せねばならなかった。また新設の関西工業専門学校の運営の指導にもあたったのである。

昭和二十年八月十五日の敗戦により、秋から続々と出陣していた学徒たちが復員、帰校した。しかし学園は、戦災をうけることこそ少なかったが、陸軍部隊の千里山学舎駐留により、また多くの盗人の侵入により、荒廃を極めていた。各種の施設が破壊されており、また衣食住はじめ学用品、スポーツ用品、医薬品など、あらゆるものが欠乏していた。学長事務取扱としても、理事会としても、対処に困難をきわめたことであろう。

復員してきた学生たちは、二十年十二月六日には、正式の学長の任命を求め、とくに佐々木惣一の就任と理事会の総辞職を要望した。教授会も佐々木の推戴を決議した。おそらく、竹田としても自分の最大の親友である佐々木の就任には異存はなかったであろう。しかし、佐々木は固辞した。結局、四月十三日の教授会による学長公選で、正井敬次教授が学長に選ばれ、竹田は、二年近くにわたる激動期、苦難期における学長事務取扱の職をやっと退くことができた。

春風駘蕩の人

竹田は人となり温厚篤実、常に春風駘蕩のおだやかさをもち、頭を短く刈り、前額に近い方だけやや長目にのばしていて、どこか老舗の番頭を思わせるものがあったといわれている。

昭和十一年、脱疽という、足の血管を統制する神経の病気にかかった。これは、珍しい病気で、苦痛ははなはだしく十中八九まで足を切断せねばならぬのであるが、奇跡的に切断を免がれ治癒した。

彼は前述のように佐々木惣一とは他の見る目もうらやましいといわれるほど親交があったが、また経済学部の河上肇ともロンドン留学中に親交を深め、河上がその晩年に、彼に贈った「雲堂」という篆刻の印と、書跡とを秘蔵していた。

けだし「雲堂」とは彼の俳号であって、その句は、あまり発表しなかったが、つぎのような句があるという。

短か夜や夢になき児をみとりをり

このなき児とは、昭和三年に中学在学中なくなった令息という。

薫風や汽車すれちがふ関ケ原

なお、彼はまた絵画をこのみ、造詣も深く、津田青楓、太田喜二郎（ともに洋画家）と交わり、また演劇にも関心と理解があったという。

また歴史を好み、史書をよくよみ、該博な知識をもっていて人をおどろかせることがあった。

本学が松本烝治、竹田省という戦前の商法学界を代表する二巨人を学長および学長事務取扱として頂くことができたというのは、幸いなことであった。

なお本稿を草するにあたり、最高裁判所判事、前京大教授大隅健一郎氏が本年一月の『法学セミナー』に執筆された「竹田先生の人と学問」に依拠するところが多かった。しるして謝意を表する。

社員募集　1.信用調査（法人・個人）　2.人事調査（結婚・履備・その他）　3.経営診断
日本企業調査株式会社
大阪市西区京町堀2ー61（藤原ビル）
電話 大阪（06）441ー8471～8（代）

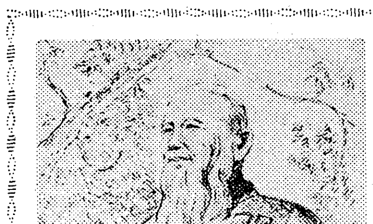
ニッカバー
ポッカ
北新地店　北区永楽町18番地　（代）344・6091
北　店　北区曽根崎中1丁目2番地　（312）4787
心斎橋店　南区心斎橋筋2丁目32番地　（211）4787

校友の皆さんへ

レコード　絵はがき

[illegible]松浦英亮画伯の手になる絵はがき（十二枚一組）が完成しました。[illegible]

関西大学校友会事務局



絵はがきの一部

大和文華館
ロビーから静かな大和路が見わたせ、中庭の青い竹が目をやすませる。めぐまれた環境の大和文華館は、国宝や重要文化財をふくむ逸品を集めたすばらしい美術館です。春秋には特別展も開かれます。（月曜休館）
近鉄奈良線学園前駅すぐ

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂

椿本チヱイン
取締役社長　山中一郎
本社工場　大阪市城東区鶴見町4ー13
埼玉工場　埼玉県飯能市新光20
支社　東京　営業所　大阪・名古屋・九州・札幌
広島・静岡・神戸・横浜・豊田

図書館用品と装備設計専門
※西独製フィルムルックス関西代理店
※パンチカード用品・各種機具
※木製・スチール家具一式
本荘商事株式会社
代表取締役　本荘利雄
大阪市住吉区杉本町二丁目十四
電話大阪（699）八四五一番代表

営業品目　合金鉄・珪砂・銑鉄　製鋼・副原料一式
大特鑛業株式会社
取締役社長　大久保義雄
大阪市東淀川区十三西之町一丁目九の三
電話　大阪（302）[illegible]

御進物に御土産
福屋の粟おこし
株式会社　福屋
専務取締役　森脇良光
大阪市天王寺区上之宮町二七　電話大阪（761）[illegible]

アシモリは　フレッシュなブレーンを　求めています
芦森工業は社会の重要な産業資材の製造を行なっています
《製造品目》
消防用ホース・漁業船舶用ロープ・自動車用安全ベルト・合繊重布・その他
芦森工業株式会社
資本金10億円・大阪・東京証券取引所第1部上場
大阪市東区横堀4丁目15番地
TEL 大阪 271ー7031
支店 東京　工場 大阪・篠山・鶴来